



# 経営計画の重要性は脳の働きから説明できる

経営計画の重要性についてはこれまで様々な観点から説明されてきたが、脳医学の領域からもアプローチが可能だ。認知症専門外来を中心とした診療、在宅医療、介護サービスなどを手掛ける医療法人ブレイングループ理事長で、神経内科医の長谷川嘉哉氏に、脳と経営計画の関係について聞いた。



医療法人ブレイングループ  
理事長・医学博士 長谷川 嘉哉氏  
2000年に岐阜県土岐市で開業した土岐内科クリニックを母体に、介護サービスの株式会社ザイタック、グループホーム運営のNPO法人グッドシニアライフで構成。介護予防から看取りまで幅広く対応する。

## 特別編 脳医学の専門家に聞く

■ 脳を専門領域とする神経内科医の立場から、経営計画の重要性について言及されています。

長谷川 「ご存じのように、人間の脳には右脳と左脳とがあります。右脳は感性・感覚などを、左脳は論理的な事柄を司っています。企業経営において経営計画が重要だといわれますが、それ

はこの脳の働きから説明できるのです。バランス取れた脳の働きが重要

長谷川 「すべてのものは二度創られる」という原則があります。ベストセラーとなった『7つの習慣』にも書かれているのですが、簡単に説明すると、人間は最初に「こうなればいいな、こん

なものがあればいいな」と頭の中でイメージします。これは感性・感覚などを司る右脳の働きによる知的な第1の創造。この知的創造に基づいて行動するのが論理的な事柄を司る左脳の働きで、これが物的な第2の創造です。

こう考えると、経営とは右脳でイメージしたものを、左脳で実行するものだと思います。経営計画の策定は、右脳で行う知的創造であり、これがなければ物的創造に結びつかない。ここに経営計画の重要性があるのです。もちろん、右脳、左脳のどちらに偏ることもなく、バランスがとれた脳の働きが大切なことは言うまでもありません。

### セミナーでは右脳がフル稼働

■ ただ現実には、日々の業務に忙殺され、右脳を使って自社の将来をイメージする余裕のない経営者が少なくありません。

長谷川 おっしゃる通りです。そういう意味では、経営計画立案セミナー「將軍の日」は経営者にとっていい機会になりますね。日常業務から離れてまる一日をかけて、5年後、10年後の事業を

考えるわけですから、まさに朝から晩まで右脳がフル稼働します。この一日だけでも経営者にとっては貴重です。

私自身もブレイングループを率いる経営者として、あんしん経営をサポートする会会員のSMC税理士法人に誘われて数年前から、毎年「將軍の日」セミナーに参加しています。経営計画の策定は、当グループの成長に大きく寄与しています。どっぷり勘定からの脱却を図り、市外での新たな通所施設開設を実現させたほか、医療介護保険以外の収益確保を目指して介護医療コンサルティングにも乗り出すなど、将来をにらんだグループ展開を推進しています。

### 中期5カ年計画立案セミナー



「あんしん経営をサポートする会」事務局  
☎03-5365-1500  
e-mail: ansinkeiei@mapka.jp

お申し込みはこちら

詳しくはWebで!! 將軍の日

www.shougun.jp